

経営比較分析表（令和6年度決算）

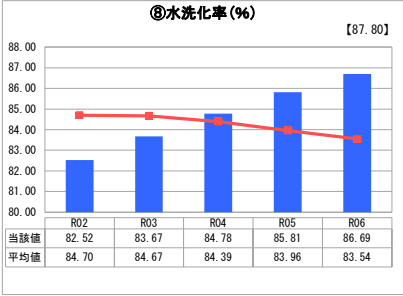
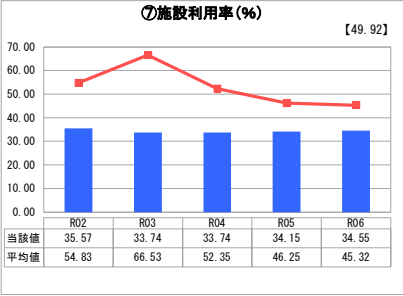
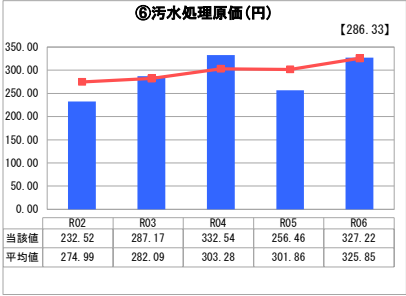
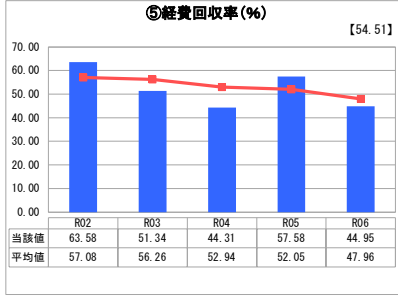
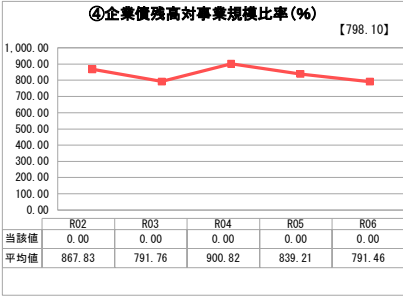
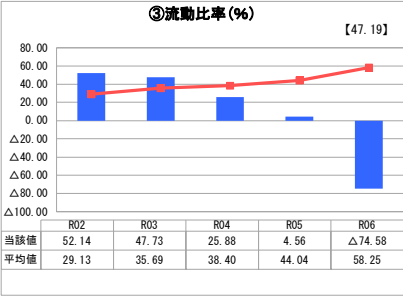
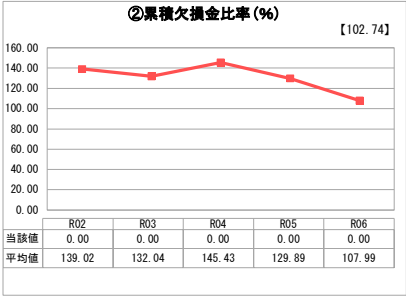
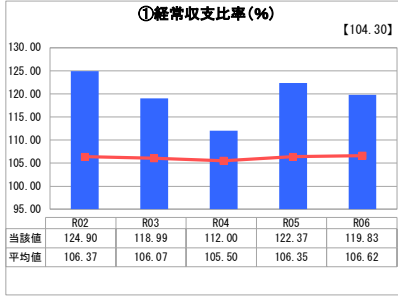
群馬県 館林市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	83.64	0.99	91.86	2,970

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
73,667	60.97	1,208.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
729	0.46	1,584.78

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

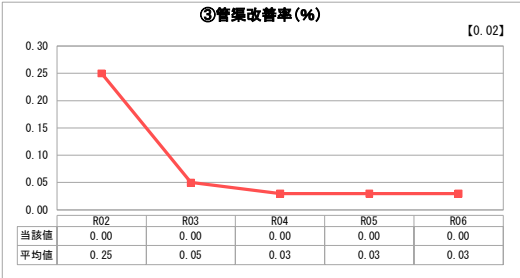
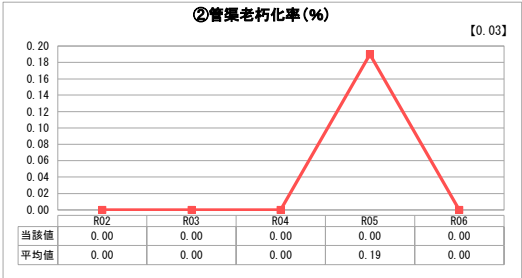
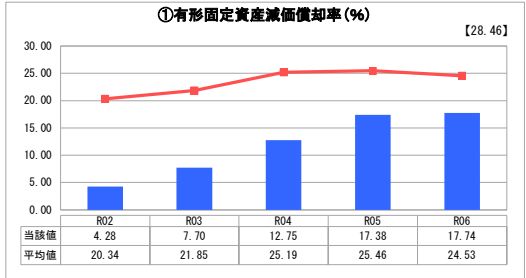
①経常収支比率は100%を超えているが、これは、一般会計からの繰入金（基準外）によるものであるため、さらなる使用料収入の確保、維持管理費等の費用の削減が必要となる。
②累積欠損金比率は発生していない。
③流動比率はマイナスとなっているが、これは令和5年度末に完了した発注工事について、令和6年度当初に請求があり、支払を行ったことによる一時的なものである。資金繰りは下水道事業全体で管理しているため支障はないが、接続率の向上による使用料収入の確保などにより、今後は一層の現金預金の確保が必要である。
④企業債残高対事業規模比率は発生していない。
⑤経費回収率は平均値を下回っており、さらなる使用料収入の確保、維持管理費等の費用の削減が必要となる。
⑥汚水処理原価は平均値を上回っており、経営改善のためにさらなる汚水処理費の削減が必要となる。
⑦施設利用率は平均値を下回っている。⑧水洗化率が100%に達していないことから、農業集落排水への接続人口を増やし、施設利用率、水洗化率の改善が必要となる。

以上の分析から、農業集落排水事業の経営改善のためには、さらなる使用料収入確保、維持管理費等の費用の削減が必要となる。

2. 老朽化の状況について

本市の農業集落排水施設は、下早川田地区は平成11年、木戸地区は平成17年の供用開始と比較的新しい施設である。そのため、①有形固定資産減価償却率は平均値を下回っており、②管渠老朽化率及び③管渠改善率は発生していない。
しかし、今後老朽化が進むことは明らかであり、将来を見据えた老朽化対策が必要となる。

2. 老朽化の状況



全体総括

本市の農業集落排水事業は、令和2年度より地方公営企業法の財務規定等を適用している。
使用料収入だけでは経営を維持することが困難であるため、一般会計からの繰入金（基準外）を頼りにしている状況である。
今後、水洗化率の向上による使用料収入の確保、維持管理費等の費用の削減により、安定的な経営が図れるよう努める。さらに、老朽化に伴う更新費用の増大が見込まれることから、最速整備構想及び経営戦略を考慮し、計画的な更新を行っていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。